



ANGEL COMICS
ACTION PIZAZZ
BRAND



イロハニホヘト
フカヘキコノサ
マエミヤマト
シロヤマト





あああん

あ…

ぬ

ぬ

ぬ

明治くんの
なにか
膣内に…❤



ズッ

んくう…

キツイ…
かな？
セイカちゃん

大丈夫…

イッパイ
動いて…

あ…

ぬ

ぬ

う…

はっ

だって十年ぶりの
明治君なんだもん…

私を
離さないで…

うん…っ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ



あはっ

おっぱいもお...?

もう...ダメ
セイカちゃん
が
キモチよくて...

出ちやい
そ...!

いい...よ
明治くん...❤

はっ

はっ

はあっ

何度でも
射精して...え

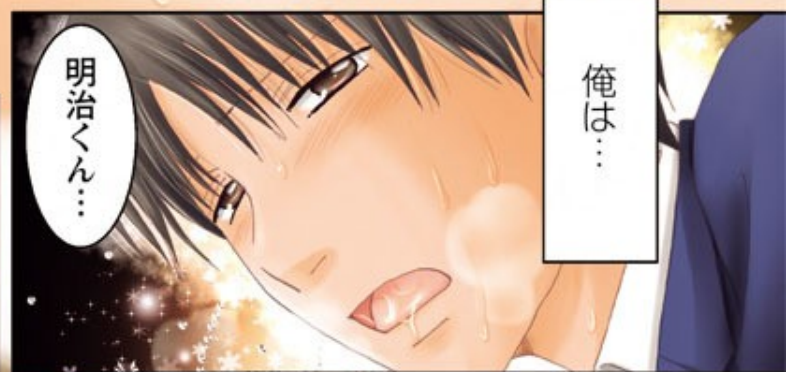
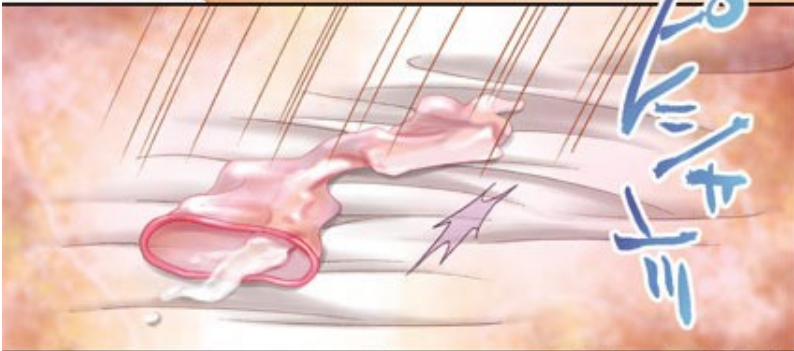
はっ

はっ

はっ

にゅわ

にゅわ





ね…
アキハル
明治くん♡

キスしよ♡

セイカちゃん

大丈夫
パパたちは下で
お酒飲んでるから



同い年の
セイカちゃんと

ほんの少しの
好奇心だったのに



生まれた頃から
俺たちはお互いの家を
行き来していた

ん…

クチビル…
やらかい…

第1話

EROITOKO



もう二度と
セイカちゃんには
会えないんだ……









この
エロ上司！

気を付けろよ
石井！



あく
スママセーン



えーと去年の
製品の項目は…

あ！
あったあった

資料室



アキラ
明治くん



やつ…
だ…！

いーじゃん
ちよつと
触らせてよー

やめて
ください！

やつ

セイカちゃん！







ほーらもつと
飲んでー

ホー

またあの
エロ上司

セイカちゃんに
あんなに飲ませて…

十年前に比べて
すいぶん静かに
なったよな…

俺は親父に
何も言われなかった
けど…

女の子だし
やつはおじさんに
キスのこと
怒られたんだろっな



石井 おまえ
テキトーなこと
言ってるじゃねーよ



待ってくださいよー
ちゃんと俺が
送っていきますから

なんなんだ
おまえは

家も
知ってるし！



じゃ俺 石井ちゃん
送ってくわー

ちよっ！

やつば
お持ち帰りフラグ
じゃんか！

ひどいで
帰りますわー







アキハル
明治くん

はあ

はあ

はあ

恥ずかしい…
全部は
脱がさないでえ

あ…

はっ

んっ

めず…

あ…

あ…!

ごめんね
アキハル
明治くん…

あああつ
アキハル
明治くんのが
全部う…♡

んああっ

ひび…

はっ



私があのとき
ムリヤリキス
しちゃったせいで

ほんとはずっと
会いたかった…の

あああんっ

ぬちゃ

セイカちゃん

ぬちゃ、

アキハル
明治くん♥

ぬちゃ

あっ

ああんっ♥

ずっと
避けてたのにい

アキハル
また明治くんに
キスせまっちゃうい
そんで…!





辻風



セイジのこと
なんだけど

大学卒業以来
就職もバイトもしないで
ずっと部屋から
でてこないのよ…



わたしがセイジに
メールや電話しても
ずーっとシカトだし

もう…！
セイジったら



このまま一生
引きこもるの
かしら…

おばさん
元気出して



イトコの私が
きたからには
だいじようぶ！

セイジを引きこもりから
救い出すからね！



第2話
EROITOKO







おばさん
心配してたよ!

あ…
あんな
ひつつく
なよな…っ

バイトくらい
したらー?

中身は
全然変わって
ない…っ



ひどいよずっと
メールしてたのにー

既読すら
してないなんてー



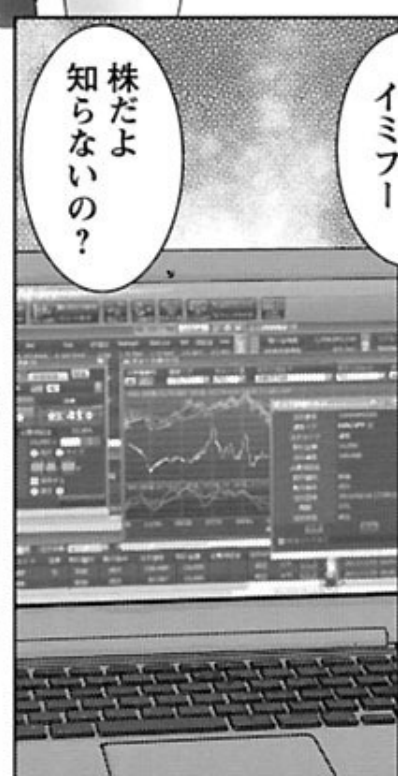
前はあんなに
遊んでくれたのに!

しょーがないだろ
いそがしーんだから



ここから
離れられ
ないんだよ

変動があったら
証券会社が知らせて
くれるんだ



株だよ
知らないの?



さっきから
何やってんの?
チャット?

なにこれ
イミフー





こ…こんなの
見せたら
ショック死するだろ
うちの親は…



わあああ
ゴメン！

……



ねー
セイジ

久しぶりなんだから
なんか話してよー

んくちよつと今
ムリ…



セイジ
さみしいうおー

だから手が
離せないんだって…



つまらないのー

ぐんぐん

……



あ…
うん…

そ…
だね

掴ま
れ
ちゃった…







私たちが子供のころから
ずっと一緒に
遊んでたから



ねえ
もっと
かまって♡

いずみ…



こんなコトも

しちゃっても
いいと思うの♡



あ…

うん…

うん…
いずみ

ん…

ほやん



ね？
セイジ











あ

あんっ

うそ…
みたいだ…

あ

俺のが
いずみに
挿入っ
ちゃって

セイ…ジ…

ああん…っ

セイジィ…

あーっ

ぐんぐん

あーっ







END





は…

ん…っ♡

ぬちゅ

あ…

あ

あ

ぬちゅ

ぬちゅ



分家の洋介が
本家の私に
さからうなんて
ありえないんだから

あ…
大き…いい♡



ちゃんと
オッパイも…

んんっ

ああっ

あっ

もっと

もっと
膣奥まで

ダメったら
ダメ!!

早いよ!
洋介!

あ…もう
ムリだよ…
まさみちゃん



おっ

うああっ

私より先に
イクなんて

許さないん
だからね!

俺は産まれた時から
この横暴なイトコの
いいなりになっている...

洋介の
おち○ちんは...

洋介は私のモノ
なんだからあ!

だから五回は
イカせて
もらうわよ

ムリ〜

あん♥
イク...

イクウ♥

山本

俺

三月になったら
東京に行きます

第3話

EROITOKO

もう
決めましたから…

洋介…

本家のおじさんには
ちゃんと報告
しようと思って

何言っ
てんだ
洋介君

サ
ワ



そういうのが
いやなんだ…



私
聞いてない！

そうだぞ
いずれはうちの
ムコ養子に…

いや

分家の者が
本家の許可も得ずに
勝手なことされちゃ
困るんだよ



もうこれ以上
まさみちゃんに
振り回されるのは
ゴメンだ



まいったなあ
本家のムコ養子は
気が弱い男と
決めてんだよ



すまんねえ
おとなしい息子が
今回は
きかなくてねえ

すっ
まー杯



パパー
なんとか
してよお

うむむ…



私
聞いてないよ！
洋介！

洋介！

……





聞いてる？
洋介！

.....



じゃ命令！
東京行き中止！



お正月の...！
なにあれ
私は
許さないからね

ムリ
会社も内定
もらったし



子供のころから
命令すれば
いいと思って

遊びも志望校も
エッチだって
強制だった

ずっと
言うとおりに
してきたけど



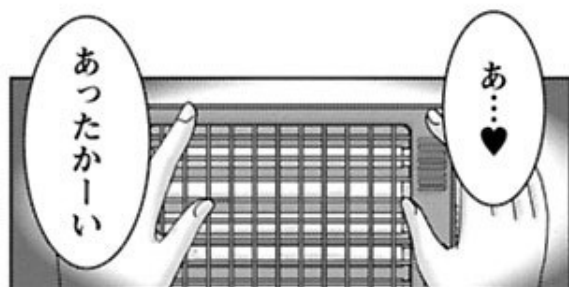
洋介〜！

わくそれは
ちよっと待って〜



俺は奴隷じゃ
ないんだ

まさみちゃんとは
ただのイトコ同士
なんだから





洋介がいなくなったら
こんな時だれが
助けてくれるのよ

友達だって
いないし私



私
ワガママだし

ずっと洋介に
イジワルだったし



ちゃんと反省
してるわよ...

ねえどうしたら
東京行き
諦めてくれるの？





今度は私が
洋介をキモチよく
させてあげるから



こうしたら？



あ...あ...
フエう...

これが
フエう...



どう...かな
洋介...

んぐっ

んん...

まさみ
ちゃん...

あ...
口の中で
大きくなった...

んぐっ

んっ

チュウ

ポキッ





こ…
こう？

もう
止まらない…

じゃあ今度は
服ぬいで

あのまさみちゃんが
俺の前で
こんなこと…

洋介の
バカ…

やだ…
恥ずかしい…



ホラホラ
ホラア

挿れて
あげるわよ
洋介!

あのいつもの
まさみちゃんとは
違って

ほら...

ぬち...

ひびく...

あ...

ぬちや...

ほら
挿れてあげるよ
まさみちゃん

んっ

あんっ

ああっ!

はああ!

あふっ

ぐちゃぐちゃ

のび

ぬちや...



こんな格好…
初めて…

だめえ…
これすごく
深い…っ



お尻の穴まで
ヒクついてるよ

いやあ…

そんなところ
見ないでよおっ

あふ

でもうっせぬり
すくく
濡れちゃってる…

おん
おん
おん

ああん



やだやだやだ

あああつ
も...う出そ...

ハア

一人で
イカないでえ

私も

私も
連れて行ってえ

ハア

ハア

おは
おは

おは
おは

おは
おは



三月

早く早く
次のお店
いくよー

洋介
トロいよ！

まさみちゃん
俺に付いてきて
一緒に暮らしてる

まってよ
まさみちゃん
仕事でヘトヘト
なんだよー

外であいかわらず
ワガママ放題で

でも
二人きりに
なると…

もう…ムリイ…
早くイカせてえ

ダメダメ
もっと続けて

指
ふやけちゃう…

まだまだー

おいまさみ
いつ帰って
くるんだよー

すみっしょん

END



事業が行き詰まって
愛人と心中ですって

まだ若いのに
未亡人なんて
気の毒よね



えらく美人に
なったな
俺が後十年
若かったらなあ

いてっ



かなたさん
.....

七年ぶりに
再会した三つ年上の
イトコのかなたさん

ヒロヤくん
久しぶりやね

今夜はヒロヤくんも
泊まってくれるとね

うん…

おおきにな
うれしか…

相変わらず
無口やっちゃね…

そう言っ
て力なく微笑んだ
かなたさんに…

喪服姿の
かなたさんに

俺は不謹慎にも
欲情していた

第4話
EROITOKO

七年前……

あー会場が広くて
迷っちゃった……

控え室
どこだっけ？

ヒロヤくん
どうしたと？

あ……
かなたさん

私も
迷っちゃって

う……
うん

まだ
若かった
俺は

年上の
かなたさんが
まぶしかった

一緒に会場
探そうが？

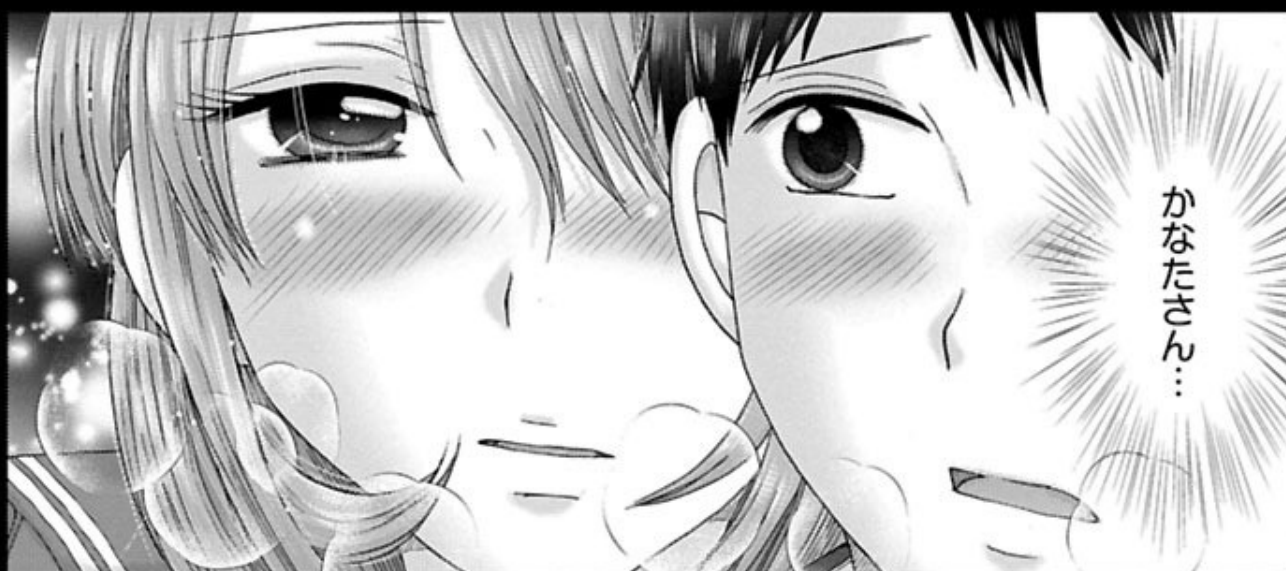
ここかね……

カチャ

あ……！

！





かなたさんの
息が耳に…

体がピッタリ
密着して

おっぱいが…
思いつきり
押し付けられてる

あああああ
おおきい…！

やらしいような
音も聞こえる

ハア

ハア

前から？
それとも

ハア

ねえ…
ヒロヤくん…

ハア

ハア

こん事は
二人だけの
秘密っちゃ…

あ…
うん…

あれから
どうやって
帰ったんだっけ…

親戚の不倫を
見てしまった…

俺とかなたさん
だけの秘密…







あひじ
主人のことを
想ってしてたんじゃ
ないとよ...

両親に泣かれて
頼まれて

父の会社を
存続させるには
結婚するしかなくて

助けてくれた
主人には感謝
しとるけど...

愛人と心中
した男なんかに...

.....
なんで感謝なんて
してんだよ...

.....
ヒロヤくん

体が...疼いて...
いかなのよ...

あなたに
会っちゃったら...

もうガマン
できなくて

.....
この
結婚だって...





ヒロヤン

ごめんね
私きれいな体じゃ
なけれど

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

でも
きてくれる
と...?



あ...
うん...

緊張して
うまく
挿入らないよ...



私に
まかせて...

んっ

あ...

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ...



白で汚れた
喪服のあなたさんは

びしょ

びしょ

びしょ

ハア

ハア

ハア

ハア

もっとエロくて
やっぱり俺には
まぶしかった



ヒロヤくん

こん事は
二人だけの
秘密っちゃね…♡

七年前と同じ
この笑顔も

END



ひつぺが
しちやうよー

うわっ！



あ



朝だよー
淳くん！

おきてー

うーん

第5話
EROITOKO



イトコのナオちゃんは
グラビアモデルを
やっている



いきなり部屋に
入ってくるなんてー

ハアアイ
ゴメンナサイ
淳ちゃん



千P
みられた...

ナオちゃんに
怒るなよ!
裸で寝てた
淳が全部悪い

おじさん 淳ちゃん
今日は撮影で
遅くなるから
夕飯は二人で
たべてね!

オーディションに
受かって上京して

以来ずっと
家に住んでる





おまえは
うるせーんだよ

かわいいから
なんでも
アリなんだよ
ナオちゃんはく

オヤジも
早くしないと
遅刻するぞ



毎日こんな
刺激によく
耐えてるよ俺…



ナオちゃんの写真集で
ヌイてるなんて
知られたら…

それもエロい
マッサージ…



あんなエロい後ろ姿が
普通の女の子のわけ
ないんだよ…







部屋で
トレーニングしてたら
急にー

いたたたっ



背中だって
こんなに固くなって

こちら辺はストレスが
たまりやすいんだよ



あんまり急激に
動くとこうなるから

気を付けないと

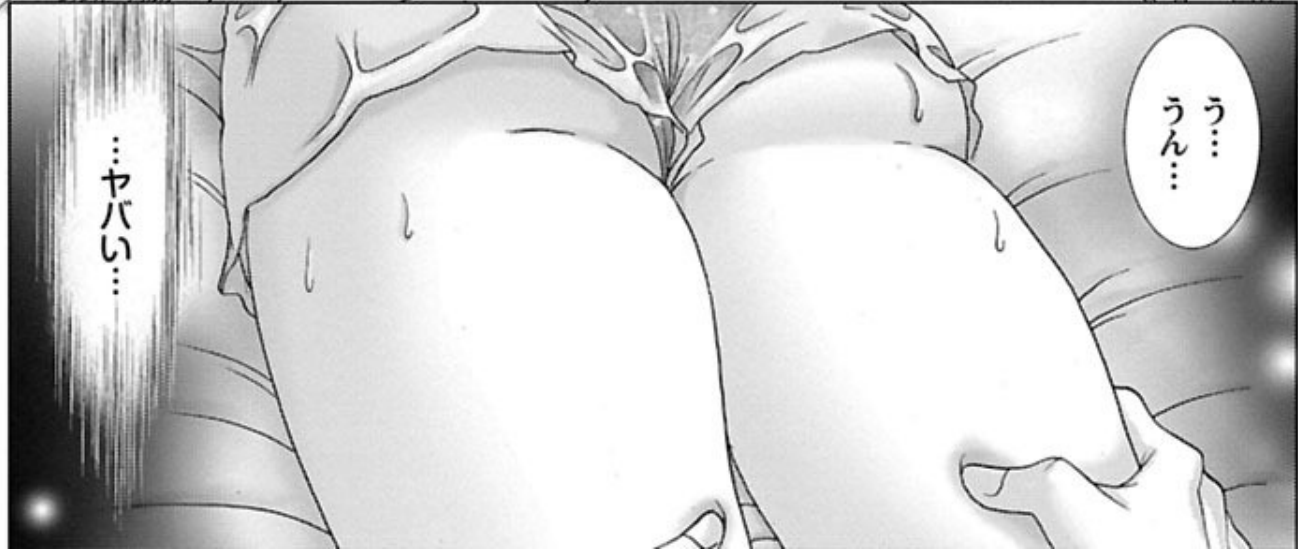


ん…
キモチいい…

淳ちゃんに
もんでもらうの
ひさしぶりだね…

あああああ
かわいいなあ…

ねもつと
イッパイして♡



う…
うん…

…ヤバイ…





だって
ナオちゃんの
汗が

俺のシャツに
染み込むだなんて
夢のようだろ

すっげー
ヘンタイばい
俺...



あ...

なに...この
カンシ...



ん...

実践するのは
初めてだけど...



たしかここを
刺激すると
性感が...



さっきとは
音が違う...

この音...
もしかして...



うおっ!
トロキ...!

うおおおおおっ!



はあ

はあ

うおおお!
足が...
開いてきた
...!

はあ



感じやすいんだ
ナオちゃん…

こんなにたくさん
愛液が… トロ



どうしよう…
なんか濡れちゃってる
私…



ナオちゃんも
黙り込んでる…

この空気…
何か話さないと…

あ…
あのさ

ナオちゃんって
枕営業とか
してるの？



あの週刊誌
見たんだ…
淳ちゃん



それなら…
試してみる…？

え…？



よけいな
ことを…

うわ—
うわ—
!!

……



私が他の人と
エッチしてるかどうか…

エッチなことして
調べてみてよ…



たっ…確かめる
って…何を…!



淳ちゃん
私のこと
少しは好きでいて
くれたんだね…

うわ—
写真集が雪崩
おこしてたあ



このベッドで

私の写真集見て
エッチなこと
してたの…?



いつも
服の上からとか
水着でとか…

俺の頭の中にいた
ナオちゃん



夕へまで
夢見てたことが…



ああ…
んんっ

アハハハ
アハハハ

アハハハ

膣中…
あつたかー

直接触ることが
できるなんて…

アハハハ

ぬゅ

あ…あああ…

う…んっ

指…
キツ…いい

アハハハ

あ…





私グラビア
やめるね…

え…!?

あ…

私の体
もう淳ちゃんが
見てくれるだけで
いいから…



ナオちゃん…

あああ…

見るだけじゃ
なくて
…あ…っ…

もっと…
いじくって
…ほし…の♡





子供のころから
毎年春夏冬の休みは
叔父の旅館の
手伝いをしている

第6話

EROITOKO

助かってるのは
こっちの方だよ
タイガ

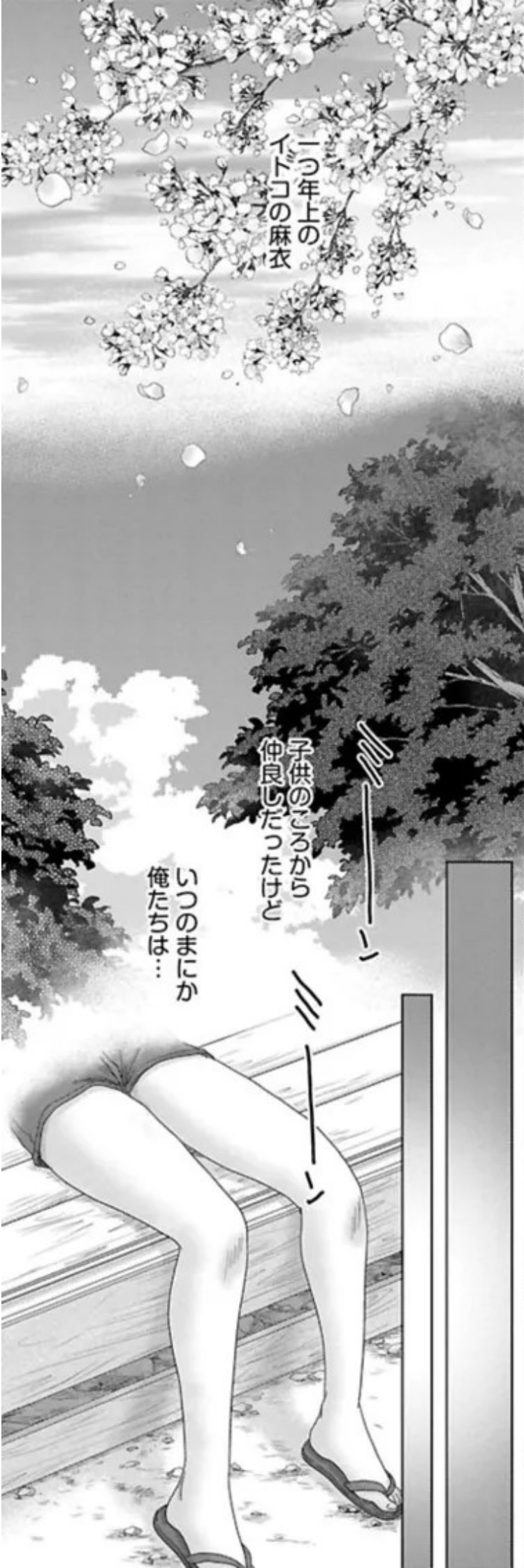
今年もお世話に
なります
おじさん

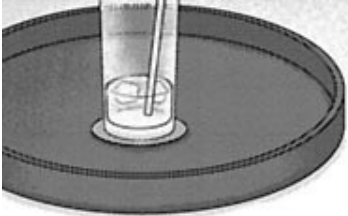
きたきた
タイガ!
——
待ってたよ

って言っても
四月からは就職で
もう来られなく
なるんだよなあ

うん…
まあ…







麻衣…
寝てる…

麻衣ー
おじさんが
呼んでるよ…

麻衣の胸…
大きいな…





もう

ぎゅ

さわりたいたい...
でも目を
覚ますかも

はーい...

タイガの
エッチ!

あ...

でもいいよ
タイガなら...

麻衣...



お風呂掃除
でもやって時間を
つぶそう！

あああ
夜中まで
待てない！

麻衣との
久しぶりの
エッチだー



さあ
洗うぞー！

キヤッ



！

ていつても
冬休み以来だけど





すっげーキレイ
だったなあ…

女将さん目当ての
宿泊客も
多いもんな…



もっかい
見たいなあ

桜の花びらが
肌にはりつくな…

あ~~~~
勃起ちゃう
な…!



もう
勃起てるよ
タイガ

うわっ!



は…い…



ガマンできずに
きちゃった♡

おかみさんが…

タイガがお風呂掃除
してくれてるって
ママが言ってたから

麻衣!

ポーっとして
何かエッチなこと
考えてたんだー!



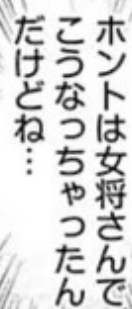
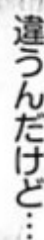
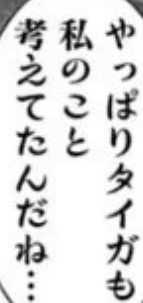
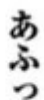
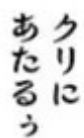
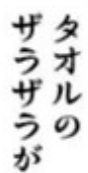
部屋じゃなくて
今ここで

ね
タイガ

ギュっ♡

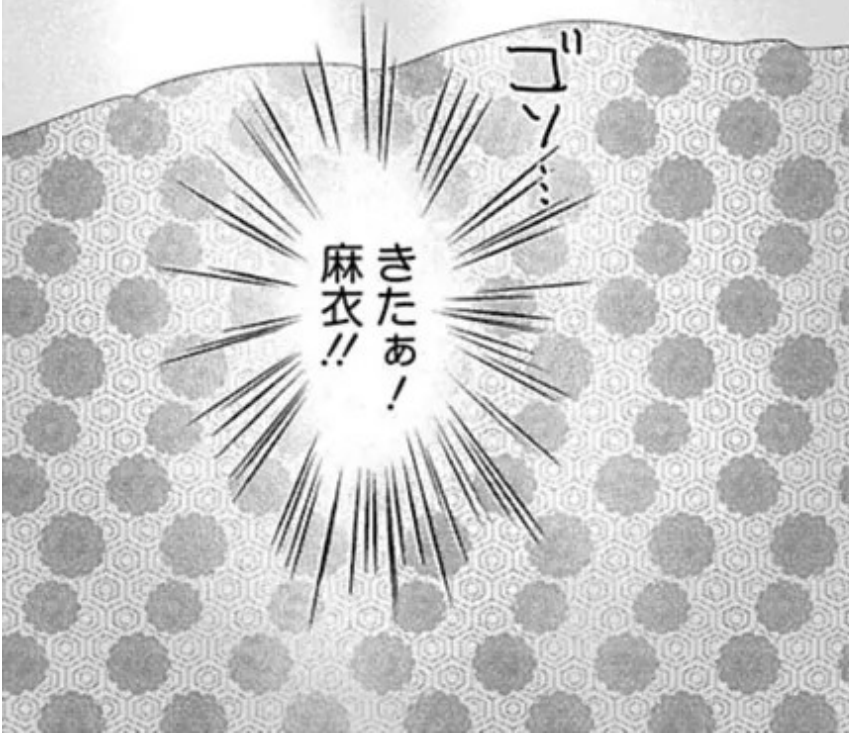
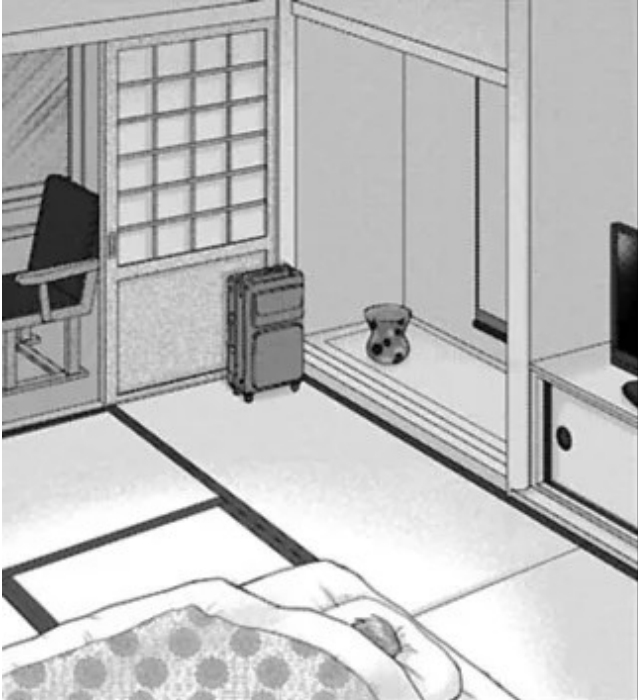
スィーッ













ま…



タイガ
くん…

ええ
ええ—!?



あ…



お…
女将さん…

しっ!



女将さんなんて
呼ばないで

今は桜子って
呼んでね
タイガくん

あ…



こ…こんな
薄い襦袢で…

下着…
着けてない…



いい？
誰にもヒミツよ

お…お…
女将さんが
俺とお!?

END









女将さん…
俺の気持ちを
聞き出すために
こんなこと…?



じゃあね
タイガくん



スッゴク
濃いよね♡

あ
ご…めん
なさい…
顔に…



麻衣はいつでも
大歓迎よ

私もね



若女将!
タイガくん
だぞー!

お! 今日から
よろしくな!

おはよう
ございます
おじさん

やっぱりすぐには
答えられなかった

登井旅館



あ...麻衣...
だよな...

麻...

おはよう
タイガ

一瞬女将さんかと思っただ...

女将さん

おはよう
タイガくん

山ギン



麻衣ね 女将修業
するんだって
自分から
言い出したのよ

私だって来年
卒業なんだし

せっかくの
春休みなんだから
遊んでられないよね



麻衣…

お客様にごあいさつ
してこなきゃ



タイガも
自分の道を
進むんだから
がんばらなくちゃ
ムリばっか
言ってる
ごめんね



なんだよ…
昨夜来てくれないと
思ったら

お化粧とか
髪型まで
変えて

一晩で
大人っぽく
なっちゃって

若女将
がんばれよ!

もうパパ
麻衣でいいよ









あ…

私にも
して…



チキチキ…

ポキッ

ああ…ん



はあ

チュ…

んっ



はあ

はあ

はあ

女将さんの…



ふんふん

そんなに
深くう…



あん
指があ



あ…お
キモチい…









あ——っ！

あああ

うあっ！！



タイ...ガア!!

タイガが
膣中に
出てるう



麻衣

キモチよくて
失神しちゃう
なんて



熱いのが
イッバイ...



さタイガくん
こっちにも
きて…



んっ

ぬっ…

あんなに
射精したのに
また…



んくうう

ぬっ…



あ

は

麻衣とは
なか
腔中が全然
違う…

う…あつ
締まる…っ



女将さん…
でも…

大丈夫よ
この子は
眠ったら
起きないから







おっはよー
タイガ!



くすくす
くすくす



ううん
何でもない
ただの夢だし



え…

昨日あれから
変な夢
見ちゃったの
ママがね…



さー
お仕事
お仕事

麻衣っ!

すっとなんかに
いたって…

END

あ…
あのさ…
麻衣…

これから
どう麻衣に
切り出そうかな…

堂井旅館





第8話
EROITOKO





あー兄貴は
頭固い
からなあ

マンガ家にな
りたいって言う
てお義兄さんと
もめたんですって



諭吉君
家出してから
ひと月だって



兄貴たちも
大変だよ

諭吉君の
居所が見つかったら
知らせて
あげないとね

.....



ミヒロ 今夜も
勉強なの？

うん
看護学校の
実習が大変で



ごちそうさま

夜食のおにぎり
持ってくね



がんばってね

うん...
ママ...



あ…あの
諭吉君

これで
いいの？

足閉じてて
いいからね♪

看護学校の
ナース服で
モデルなんて

見えてない
見えてない

パンツ
見えてない？

ここ
もちよつと
シワを…

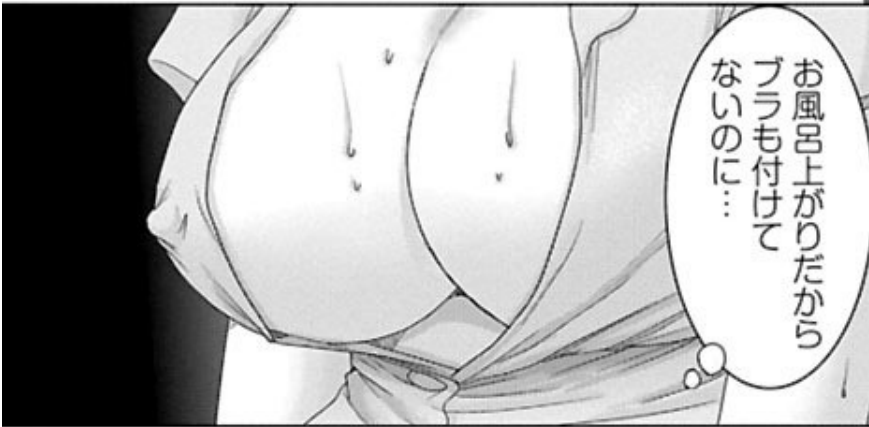
この食い込みを
大事に
したいんだ

あ…
ああっ



あ

前のボタンも
ちよっと開けて



お風呂上がりだから
ブラも付けて
ないのに…



乳首が
みえちゃうよー

でもこれも
諭吉君の
ためだよ



自意識過剰
なのかな私

どうしょ…
さわっていないのに
お尻のあたりが
ムズムズしてる





ひゃんっ!

ズンズンズン



あママ
ありがとう!

ひゃあゝ
フスマ閉めるの
間に合わなかったゝ



ナース服
なんか着て
どうしたの?

うん 明日の実習で
ちゃんと着られるかな
って...!



そうよねゝ
毎晩夜食
食べてるものねゝ



ぽんぽん



ミヒロ？

うんちちょっと
ストレッチ…！

諭吉君の描いた
エッチなマンガの
せいだよお

こんなに
濡れちゃう
なんて…

ヒロちゃんのおっぱい…

あああ
諭吉君の
エッチイ…

フカフカだ

あ…

こ…こんどは
そっちい？

じゃおやすみ
ミヒロ

うん…
ママ…

ん…











あ…
ああっ

ぬっ



ピロちゃんの
瞳中…

キモチいい
……！



よかった…
諭吉君の
役に立って…

ピロちゃんの
感触

ぐんぐん

びんぎん

ぬっ
これだ！
これだよお



諭吉君が
挿入った…

ず

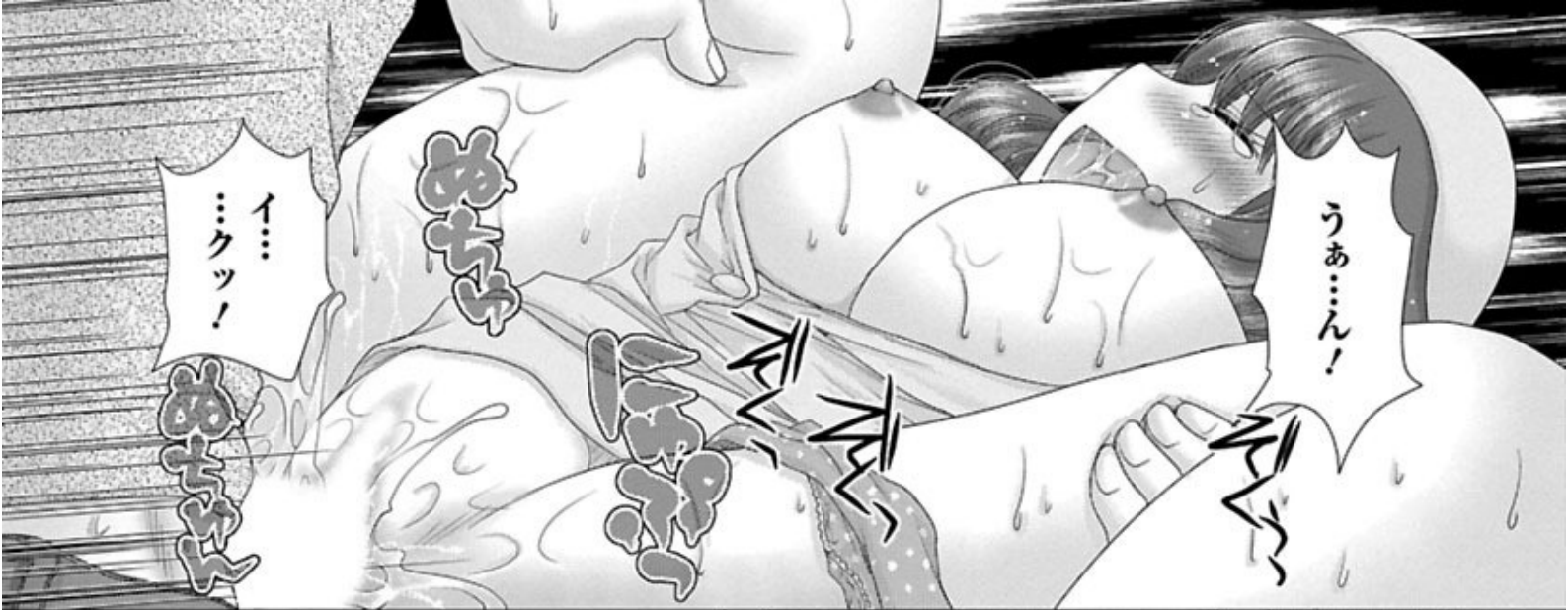
ず

ず

ず

…あ！
んっ！





千千……

ぴんぽん……

諭吉君も
何度も
出してるのに

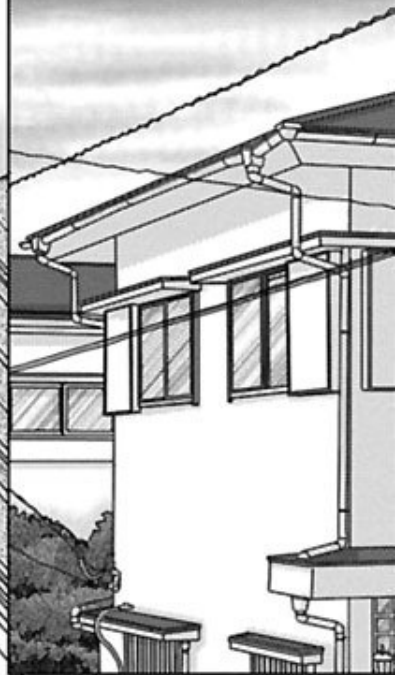
もうお腹の中
イッパイ

ぬる

にゅん

ああああ
またイク……!

のちゅん



ねえ
諭吉君
私……

諭吉君の夢が
かなうまで
がんばるからね……

ハ

ハアハア

ハッ



諭吉君
何コレ〜

〜はく...



一ヶ月後

ヤッター念願の
マンガ家
デビューだ！



この前のこと
丸ごと
描いちゃうなんて！

押入れに諭吉君を
かくす

みんなには
内緒なの！

見つかったら
よー！

ママに



私と諭吉君
本名で出てるし！

ビロ
ちゃん

あああ

会話の二つ
まで！

諭吉
くん



もうこつから
出さない！
おにぎりも
なし！

あけろー
おなかを
さっさと
さっさと

END



え...だって
描いていいって...

パパやママ
おじさんたちにも
バレちゃったよ

ミロミロ
諭吉くん
さっさと
さっさと

星乃さん
しずくちゃん
お願いします！

少しの間ここに
居候させて
ください！

第9話

EROITOKO

えー男の人と
住むの？

いいじゃない
イトコ同士だし

社員寮も閉鎖
給料も不払い
貯金も底をついて…

上京してすぐ
会社が倒産して

家事全般は
得意なので
どうか！

私たち姉妹は
家事苦手なのよ

ほら

一時間後

うわ

キラキラ...

ちなみに
料理も
得意です

あらー
ステキ

料理...

しょうがないな
寝込み襲ったら
刺すからね

女子大生なんだよ
これでも！

うん 大きく
なったね
しずくちゃん

...

四つ年上の
イトコのユウキ



本当は会えて
うれしいのに

どうして
あんなやなこと
言っちゃうのかな私



小さいころ
ユウキのお母さんが
よく入院していた

その間ユウキは
家に泊まっていた



よく
ホットケーキを
作ってくれて

ママがよく作って
くれるんだけど
美味しくできたら
いいなー

いつも優しく
お兄ちゃんみたいで
大好きだった

パパとママは
お仕事

四つ上の
お姉ちゃんは
部活

私たちは
いつも二人で
お留守番だった





でも私のココ見て
どう思ったのかな

いいからっ
あっすいって!

あ...
しずくちゃん
大丈夫...



.....



み...見られ
ちゃった...

一緒にお風呂に
入ったことも
ないのに...



ふふふ

ふふふ



あ...

あ...

ぬちゅ...



糸引いてる
.....





んあ
……あ……



やだ……
私……

小さい頃は
こんなこと
思わなかったのに



ユウキ
……

……



ユウキで
しちゃう
なんて……

……

……

……

ユウキは
今日来た
ばっかだよ……

……

……



あ…

あ！お帰り
しずくちゃん！

そっだ…
ユウキが
いたんだっけ…



ただいまあ…



ホットケーキ
コゲコゲに
なっちゃってさ



昔よく
おやつと一緒に
作ったの
思い出してさ

ユウキ…

証拠隠滅に
ムリヤリ
食べたよねー



わ…
すご…

ちょうど
良かった
今カップケーキ
つくったんだよ
食べるよね？



あ…
おいし…

よかった



.....

ゴメン 急に
転がりこんできて

母さんを
亡くして以来

ずっと
独身だった親父が
再婚したばかりでさ

頼るとこ
ここしなくて



大丈夫 明日から
寮つきの就職先
さがすから

すぐ出て行くように
するからね

え



はい
俺のイチゴ

やだやだ

やだよ

しずくちゃん？

.....



出てくって
私が冷たく
したから？

やだ...

違う違う
最初から
数日ぐらいの
予定だったし





ダメだよ…っ
星乃さんが
帰ってくる…

今日
お姉ちゃん
おそいから！

小さいときみたいに
お姉ちゃんが
帰ってくるまで

一緒に
遊んで



……



昨日お風呂で
見ちゃった時から

そのあと
しずくちゃんの
エッチな声も
聞こえてきて

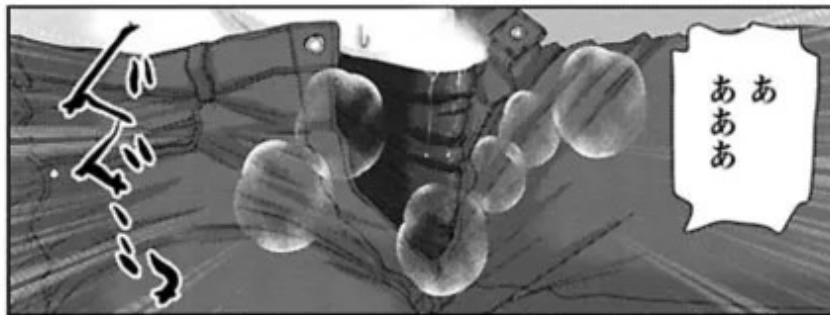


私と一緒にじゃ
イヤかな…？

このままだと
変なことばっか
考えそうで

早くここを
出て行かないとって

ユウキ









コウキイ

んああ
膣奥まで...

は
挿入
つて
るよ
お

コウキ

コウキイ〜!!

あいまユウキが
きたばっかなのに

やだまだ
イキたくないよお



ビビ

あ~~~~

イキたくないって
言ってるのに...い!

フリッ

フリッ

んああ

ああああ

フリッ

フリッ



いやあああ!

やだあ!

ゴクゴク

トカトルル





しずくちゃん…

ずるいよお
ユウキ



星乃さんが
推薦して
くれたから…

社員が一人
辞めちゃったって



もう昼間に
こんなことも
できなくなっちゃう
んだよ…



あーあ



どうして
お姉ちゃんの会社に
就職しちゃったの？

んあっ

ずっと家にいて
くれるって
約束したのに



第10話
EROITOKO



就職して
三日

俺は
星乃さんのチームに
配属された



それと
吉田くん

ここではちゃんと
名字で呼んで
ください



ちゃんと
マニュアル読んで
いないでしょう？

このやり方
早く覚えてください

星乃さん…



ねえ君
吉田さんの
イトコだって？

え…
まあ

吉田さんは
身内にも
厳しいねー

美人の
バリキヤリ！



先週辞めた新入社員も
吉田さんの
指導のせいだって
ウワサだけど

普段でも
あんな感じ？

いえ！
いえ！

おしゃべり
していないで
席に戻って

……
星乃さん…





こんなふう
に星乃さん
に仕事でも
ほめられたいなあ

な…なんか
嬉しい…



星乃さん…

おいしいわ
いつも
ありがとう
ユウキくん



それから毎日
指導・失敗の
繰り返しで

また
やり直し
今日は残業ね

スミマ
セ…

もっと詳しく
まとめて！

ハイ！

ちゃんと
ソフトの使い方も
完璧に覚えてね

星乃さんも
つきつきり
で教えてくれて



そして二週間後

部長からの
お墨付きも
もらったし…

みなさん
お疲れさまでしたー

やったー

打ち上げ
行きましょう！

吉田君の
歓迎会も
一緒に…



ガッパッ

え？

なに？

エレベーターが
止まった？

閉じ込められ
ちゃってるの…？

多分すぐ
動くと…

やだ…
どうしよう
ユウキくん…

し…
しがみついてる…
星乃さんが…

大丈夫ですよ
停電もしていないし

多分すぐ
動くと…

怖いんじゃないくて
責任感が強いだけで

みんなちよつと
誤解してるよな

ホントは
こんなに
かわいいのにな

あ…の
えーと…

前の新入社員
どうして
辞めたんですか？

え



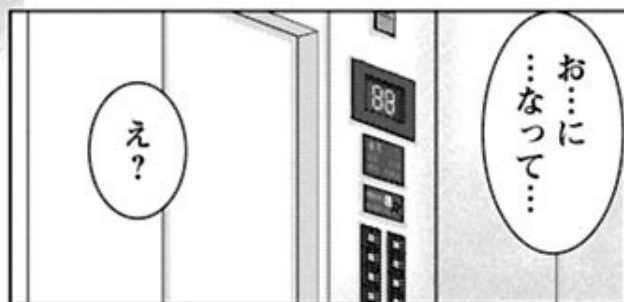
お…襲われそうに
なって…

二人で残業中に
急に…



困ってる…

えやっぱ
星乃さんの
指導で…?



お…に
…なって…

え?



なんだ
すごく
腹立つ…

ドキン

ドキ

…

やっぱそいつも
星乃さんのかわいさに
気付いてたんだ…

ドキ

ドキ



かつ
かわいいなんて
からかわないで

私なんて
ユウキくんより
四つも年上なんだから



襲われた
だど~~~~!?

びっくりして
噛みついてたら
次の日から
出社して
来なくなつて

その上家事も
できなくて

あなたにずっと
頼りきりで

.....

知ってる...のよ
ユウキくん
しずくのこと...

二人を見てたら
なんとなく...

え

俺たちのこと
気が付いてた

だからどうしても
二人だけの時間を
なくしたくて...
うちの会社に...

ドキ

妹に嫉妬
するなんて...

ドキ

ヤバい

ドキン

年上の
イトコが

かわいくて
どうしようもない...

ん

ドキ...

ドキ



噛みつかないの？
星乃さん

俺もこれから
襲いたくて
たまらないです…



あふ…

チュッ



ん…ん

ん…
ユウキく…

チュッ

チュッ

チュッ…



あ…

チュッ

ユウキくん
に
できないわ…



ぬ
あう

ああっ



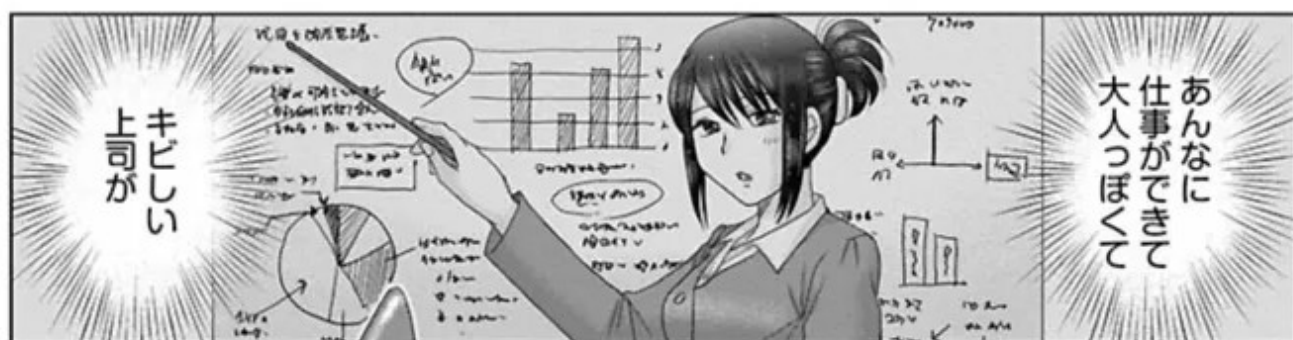
そんなこと

はあ

はあ











どっちかなんて
選べない…！

ああああ♡

ビュッ

ん…はああああ♡

ビュッ

あ…

ああ

ケルルル…





END



トロォー…

ひゃっ



ここからは
9話と10話の
続きマンガです



今日はユウキが
お姉ちゃんを
料理して
くれるって

私たち三人
両想いにな
ってから

私はずっと二人に
責め続けられて…



まずはこれを
丹念に
塗り込んで…

あ



スキマも
丁寧に…

ああん



じっと
しててね
お姉ちゃん

あ

なに
これえ…

大丈夫
ハチミツだから
おいしいよ

ああ



やっぱり
ガマンできないっ！



お姉ちゃん
もうイッちゃってる...

あー

ポッ

星乃さんが
イッちゃってる間に

ズズズ...

え...
ああ
まだダメエ
いまはダメ...!

こういうこと
まだ慣れて
ないからね♥

あああー

やああああ

なか
膣中まで
イッちゃったから...



ズッ
ズッ
ズッ

あ...♡
こうキ

あっ♡
んふっ

あ
あ
タッ

あ
ポッ
グッ
グッ
グッ
グッ

うく...
二人の胸中の違いが
いっぺんに...

やばい...
あ
あ
あ

ズッ
ああああっ♡

はひっ

ズッ

う…あつ
三突きずつ
交互にい…

あ

抜いたり
插れたり…
こんなにイッハイ
されたらあ…

あ

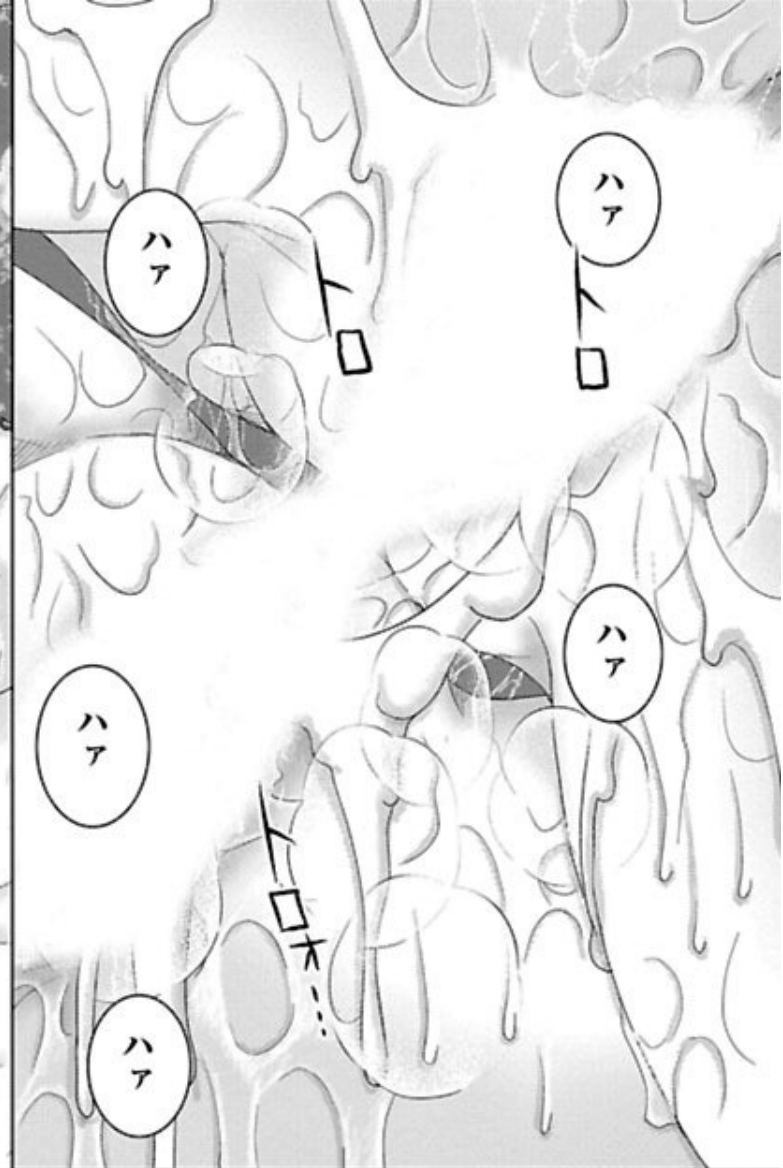
はああああん♡

あ

また
きちやうう

キモチいい♡





—おしまい—



「えろイトコ。」読んでくださって
ありがとうございました。



ブログ、ツイッターも時々
やってますー^^;
どうぞのぞいてください。

ブログ 「ゆずぼんの日常」

<http://norisukeanago.blog.fc2.com/>

ツイッター

<https://twitter.com/otimusyatarou>





初出●アクションビザッツDX2014年12月号～2015年9月号

ANGEL COMICS

えろイトコ。デジタルモザイク版

著 者 ゆずぽん

発行者 梓沢 雅治

発行所 株式会社 エンジェル出版

©Yuzupon

デジタル版 2016 年発行
製作所 デジタルカタパルト株式会社
<http://www.digital-catapult.com>